

# 陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 3 4 9	受 理 年 月 日	令 和 5 年 1 2 月 2 5 日
件 名	塔南高校第一グラウンド跡地の東吉祥院公園としての活用		
要 旨	<p>塔南高校第一グラウンド跡地に給食センターが建設されると業界誌で知った。京都市の現状と周辺環境は以下のとおりである。</p> <p>1 京都市のスポーツ施設はかなり少ない状況である。少ない施設をサッカーやラグビーの協会が会場を押さえ、空いた時間を民間の団体や地域のスポーツクラブで取り合っている現状である。季節や時期によっては満足に施設が予約できず、活動もままならないときがある。さらに、来年は下鳥羽公園球技場や宝が池公園球技場の改修が決定しており、更に会場の予約が厳しくなると見込まれる。特に南区は極端に少なく、活動場所に困っている団体も多くある。また、地域の児童公園は球技が禁止されている場所がほとんどである。周辺道路や家屋、一緒に利用する方々への危険などを考慮すれば致し方のないことかとは思いますが、地域の子供たちがスポーツに触れる機会がかなり減少している。子供たちがスポーツをするには、月謝を払い、スポーツクラブやスクールに通うしかなく、ハードルが高く、スポーツの機会はかなり減少している。</p> <p>2 給食センター建設についてはかなり懸念が残る。第一に周辺道路の交通混雑についてである。京都市の給食を一举に賄うとなれば、少なくとも中学校と同じかそれ以上の運搬車が必要となってくる。そのような大量の車両があふ敷地から出発し続けることが想像される。久世橋通は2車線道路で、あふ敷地に入出入りする車両で久世橋通はかなり混雑することが予測できる。また、夕方になれば久世橋を渡ってくる方々であふ辺りの渋滞はなかなかのものである。そういった中で給食を届ける車両、回収する車両、食材を運搬する車両、ゴミを収集する車両と一日中ひっきりなしに車両が入出入りすることとなるだろう。しかも、あふ辺りは子供たちの通学路となっており、幅員の狭い道もたくさんある。中学校給食の充実を狙った福祉政策のために、交通渋滞や子供たちの危険のリスクを取る必要があるのだろうか。</p> <p>については、塔南高校第一グラウンド跡地に給食センターを建設することに反対し、当初の計画どおり東吉祥院公園として再利用することを願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	文教はぐくみ委員会		